



認証番号 0010677

# 西日本オーガニック株式会社

## 2024年度 環境経営レポート

(対象期間:2024年5月1日 ~ 2025年4月30日)



西日本オーガニック  
West Japan Organic



作成日: 2025年5月1日

# 目 次

## 環境経営方針

【基本理念】	.....	P1
【活動方針】	.....	”

## 取組の対象組織・活動

I 組織の概要	.....	P2
II 認証・登録の対象組織・活動	.....	P3
III 許可・登録の内容	.....	P4
IV 処理料金	.....	”
V 廃棄物処理フロー	.....	”
VI 環境負荷の実績(過去3年間の環境負荷状況)	.....	”
VII 環境目標及びその実績		
(1) 中長期目標	.....	P5
(2) 取組期間の実績	.....	P6
VIII 環境経営計画とその評価(次年度の取組)	.....	P7
IX 環境への取組の自己チェックについて	.....	P8
X 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	.....	”
XI 代表者による全体の評価と見直し・指示	.....	P9
XII 環境活動の紹介	.....	P9・P10

# 環境経営方針

## 【基本理念】

当社は、限りある資源の有効利用をコンセプトに環境に配慮した資源循環型社会を積極的に推進し、下記に示す4項目を基本理念に事業活動を行うとともに、エコアクション21による環境活動により環境経営の継続的改善を図る。

### 《4原則》

- ①廃棄物受入自主規制(再生利用に不適當なものを施設に持ち込まない)
- ②ゼロエミッション(処理工程において二次廃棄物を出さない)
- ③環境保全(処理施設周辺の自然環境に影響を与えない)
- ④完結型リサイクル(再生品の全量消化)

## 【活動方針】

当社は、事業活動を遂行するにあたり、以下に示す事項に基づき環境活動を実施し、継続的な環境負荷の低減を実現する。

- 1 . 課題とチャンスをつまえて業務改善に取り組む
- 2 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する。
- 3 . 二酸化炭素排出量の削減を推進す (電気、ガソリン、軽油、灯油、ガス)
- 4 . 廃棄物排出量の削減及び再生利用または適正処理を推進する。
- 5 . 排水量の削減を推進する。
- 6 . 受託廃棄物(有機系廃棄物)の再資源化(肥料化)を推進する。
- 7 . 会社周辺の環境活動を積極的に取り組む。

制定日: 2015年3月1日

改定日: 2024年5月1日

代表取締役 黒川 聖馬

# 取組の対象組織・活動

## I 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

西日本オーガニック株式会社  
代表取締役 黒川 聖馬

(2) 所在地

本社・工場 岡山県加賀郡吉備中央町吉川2128番地62  
実験農場 岡山県加賀郡吉備中央町北字東山2782-459

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 常務取締役 ★渡邊 樹 TEL:0866-56-8988

(4) 事業内容

- 産業廃棄物の収集運搬業  
汚泥、動植物性残さ、ふん尿(動物)の3種類。
- 産業廃棄物中間処理業(堆肥製造)及び肥料販売  
汚泥、動植物性残さ、ふん尿(動物)、廃油(動植物性油脂)の4種より有機肥料を製造し、販売を行う。
- 農業  
野菜等の栽培、及び販売

(5) 事業の規模

法人設立 2002年5月15日  
資本金 2,750 万円  
売上高区分 A: 5億円未満

	本社・工場
従業員	10 名
延べ床面積	4,626 m <sup>2</sup>

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	53 t		
中間処理量	11,845 t	うち再資源化	11,845 t

工場内作業車

車種	仕様	台数	備考
ホイルローダー WA100-6	1.3m <sup>3</sup>	1 台	
ホイルローダー WA100-7	1.3m <sup>3</sup>	1 台	
ホイルローダー WA100-8	1.3m <sup>3</sup>	3 台	
リフト FD20C-12	2t	1 台	
リフト 02-8FD10	0.45t	1 台	

産業廃棄物収集運搬車両及びその他の車両

車種	仕様	台数	備考
キャブオーバー	3t	1 台	トラック積載型クレーン
ダンプカー	2t	1 台	
ダンプカー	4t	1 台	
アームロール	7.3t	1 台	
軽四トラック	350kg	1 台	

工場内主要設備

名称	仕様	台数	備考
原料供給設備(混合機)		1 基	3F
1次発酵槽供給機		1 基	2F
1次発酵槽設備		10 槽	2F
フルイ設備		1 基	1F
コンポ	C-65	2 基	3F
トラックスケール設備		1 基	1F(屋外)
土壌脱臭設備		1 基	3F(屋外)

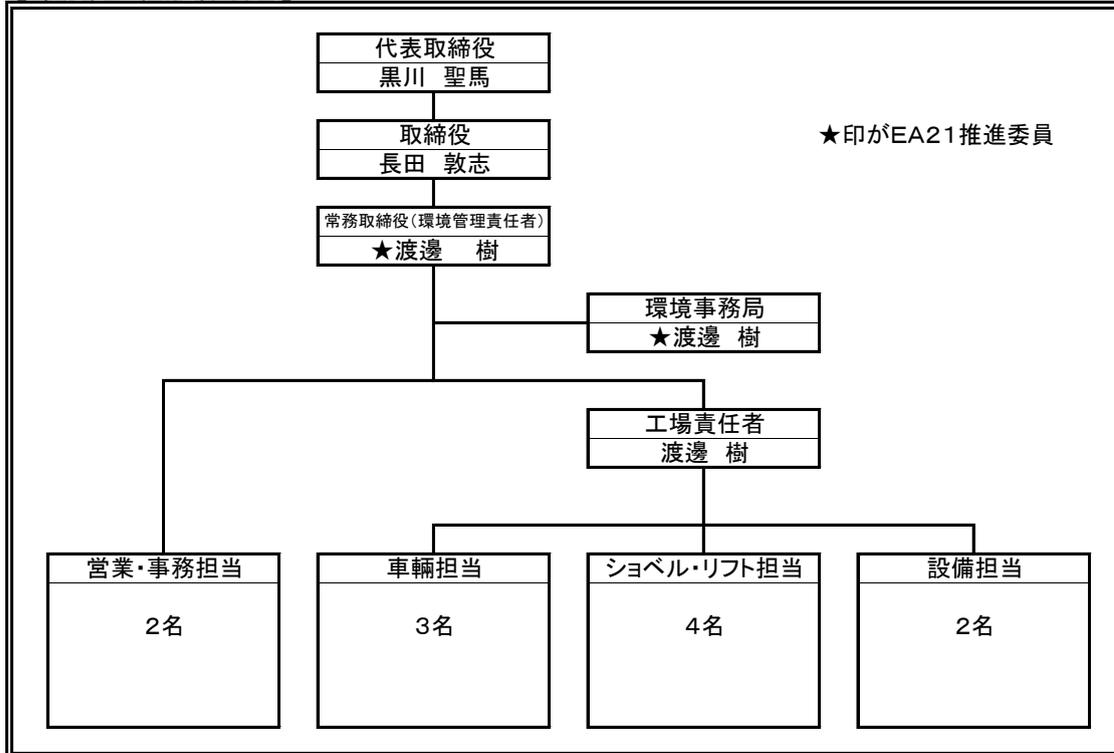
(6) 事業年度

2024年5月1日 ~ 2025年4月30日 (令和 6年度)

II 認証・登録の対象組織・活動 (全活動・全組織がEA21の対象である。)

登録組織名 : 西日本オーガニック株式会社  
 対象事業所 : 本社・工場 及び 実験農場  
 活動 : 産業廃棄物の収集・運搬、産業廃棄物の中間処理(コンポスト化)及び  
 肥料の製造・販売  
 野菜等の栽培、及び販売

【環境管理実施体制図】



【役割・責任・権限】

代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>経営における課題とチャンス明確化</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、もの、資金、情報を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し・指示を実施</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21推進委員の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> <li>各部門における環境方針の周知</li> <li>各部門に対する教育訓練の実施</li> </ul>
EA21推進委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
各担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> <li>点検等記録簿の作成</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

### Ⅲ 許可・登録の内容

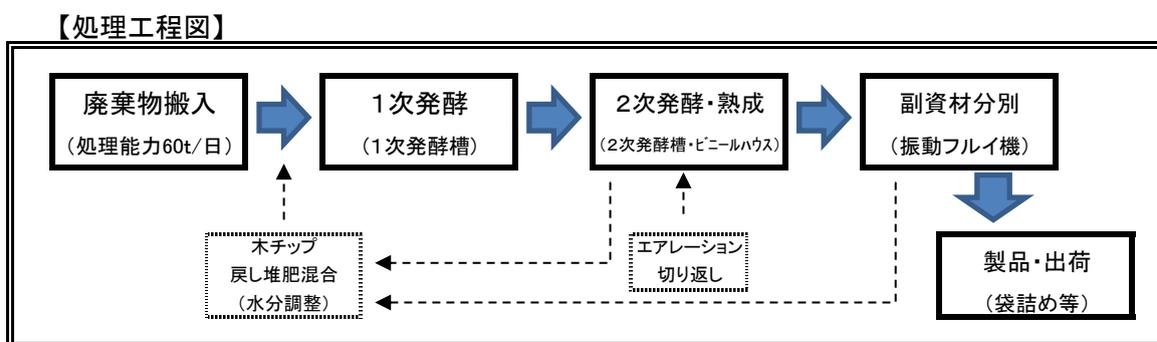
許可行政	事業の区分	許可区分	許可番号	許可年月日	有効年月日	産業廃棄物の種類			
						汚泥	廃(動植物性油脂)	動植物性残さ	ふん尿(動物)
岡山県	中間処理	産廃	第03325107827号	平成30年12月13日	令和10年11月30日	●	●	●	●
	収集運搬	産廃	第03305107827号	平成31年3月4日	令和11年3月3日	●		●	●

注) 積み替え保管の有無 あり なし

### Ⅳ 処理料金

処理料金につきましては、品目等により異なりますので、下記までお問い合わせください。  
電話番号 (0866)56-8988

### Ⅴ 廃棄物処理フロー



### Ⅵ 環境負荷の実績(過去3年間の環境負荷状況)

項目	単位	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	(対前年度)
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	466,443	417,073	440,118	6%
電力	kWh	453,900	390,050	412,336	(6%)
灯油	L	228	220	173	(-21%)
液化石油ガス(LPG)	kg	1	1	1	(0%)
ガソリン	L	823	1,207	1,330	(10%)
軽油	L	60,726	58,007	61,026	(5%)
受託廃棄物量(中間処理)	トン	10,966	10,630	11,845	11%
(収集運搬)	トン	486	116	53	-54%
廃棄物排出量					
産業廃棄物排出量	トン	47	37	37	0%
一般廃棄物排出量	トン		7	6.76	-6%
総排水量	m <sup>3</sup> (推定)	30	30	30	0%
化学物質	kg	該当なし			

Ⅶ 環境経営目標及びその実績

(1) 中長期目標

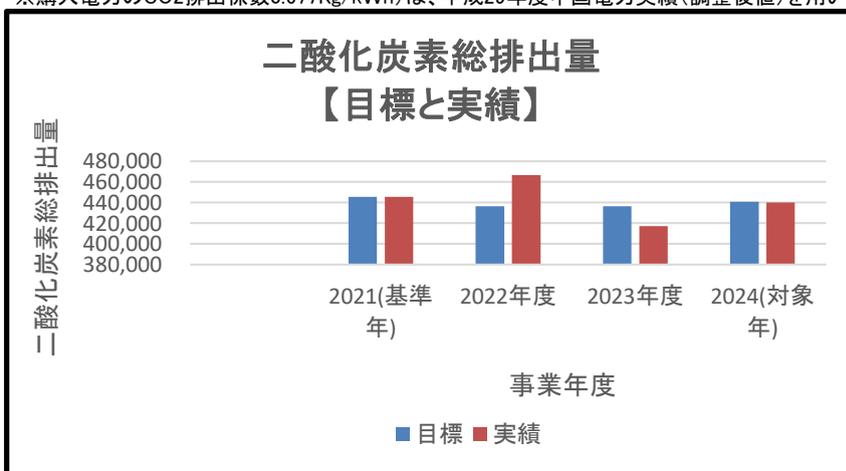
項目	年度	2021年度 (平成33年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)
		(基準年)	(目標)	(目標)	(目標)
①省エネルギー (二酸化炭素排出量の削減)					
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	445,386	440,910	423,117	423,117
	基準年度比		-1%	-5%	-5%
電力使用量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	285,835	282,977	271,543	271,543
	kWh	422,208	417,986	401,098	401,098
	基準年度比		-1%	-5%	-5%
化石燃料の削減 (液化ガスLPG)	kg-CO <sub>2</sub>	15	15	14	14
	kg	5	5	5	5
	基準年度比		-1%	-5%	-5%
化石燃料の削減 (ガソリン)	kg-CO <sub>2</sub>	1,489	1,474	1,415	1,415
	L	642	636	610	610
	基準年度比		-1%	-5%	-5%
化石燃料の削減 (軽油)	kg-CO <sub>2</sub>	157,305	155,732	149,440	149,440
	L	60,971	60,361	57,922	57,922
	基準年度比		-1%	-5%	-5%
化石燃料の削減 (灯油)	kg-CO <sub>2</sub>	742	712	705	705
	L	298	295	283	283
	基準年度比		-1%	-5%	-5%
②水の効率的利用					
水の効率的利用 雨水	推定t	300	300	300	300
	基準年度比		0%	0%	0%
③廃棄物等の排出抑制・ リサイクル・適正処理					
受託廃棄物のリサイクル量の向上					
中間処理量	t	10,942	11,381	11,489	11,489
	うち再資源化量	t	10,942	11,381	11,489
	基準年度比		4%	5%	5%
産業廃棄物の削減					
産業廃棄物 廃棄物焼却量	t	1.9	1.3	1.3	1.3
	t	1.9	1.3	1.3	1.3
	基準年度比		-30%	-30%	-30%
④排水処理					
排水量の削減	推定t	30	30	30	30
	基準年度比		0%	0%	0%
⑤廃棄物の収集運搬・ 処理における環境配慮					
収集運搬に伴う 環境負荷の低減	行動目標	急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止			
廃棄物処理における 環境配慮	行動目標	悪臭防止のため臭気測定を実施(年1回:選定10物質)			
⑥環境活動への積極的な取組					
工場周辺の環境活動 への取組	行動目標	工場内の側溝等の清掃や周辺の草刈り等を行うことで周辺環境に配慮			

注: 化学物質使用量の削減の項目は、対象となる化学物質を使用していないため環境経営目標とはしない。

(2) 取組期間の実績

項目	年度	2021年	取組期間における実績・達成度 2024年5月1日 ~ 2025年4月30日			
		(基準年)	(目標)	(実績)	達成度	評価
①省エネルギー (二酸化炭素排出量の削減)						
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	445,386	440,910	440,117	達成	○
	基準年度比		-1%	-1%		
電力使用量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	285,835	282,977	279,151	達成	○
	kWh	422,208	417,986	412,336		
	基準年度比		-1%	-2%		
化石燃料の削減 (液化ガスLPG)	kg-CO <sub>2</sub>	15	15	2	達成	○
	kg	5	5	0		
	基準年度比		-1%	-87%		
化石燃料の削減 (ガソリン)	kg-CO <sub>2</sub>	1,489	1,474	3,086	未達成	×
	L	642	636	1,330		
	基準年度比		-1%	107%		
化石燃料の削減 (軽油)	kg-CO <sub>2</sub>	157,305	155,732	157,447	未達成	×
	L	60,971	60,361	61,026		
	基準年度比		-1%	0%		
化石燃料の削減 (灯油)	kg-CO <sub>2</sub>	742	712	431	達成	○
	L	298	295	173		
	基準年度比		-1%	-42%		
②水の効率的利用						
水の効率的利用 雨水	推定t	300	300	300	達成	○
	基準年度比		0%	0%		
③廃棄物等の排出抑制・ リサイクル・適正処理						
受託廃棄物のリサイクル量の向上						
中間処理量	t	10,942	11,381	11,845	達成	○
	うち再資源化量	10,942	11,381	11,845		
	基準年度比		4%	8%		
産業廃棄物の削減 産業廃棄物 廃棄物焼却量	t	1.9	1.3	37.0	未達成	×
	t	1.9	1.3	37.0		
	基準年度比		-30%	1847%		
④排水処理						
排水量の削減	推定t	30	30	30	達成	○
	基準年度比		0%	0%		
⑤廃棄物の収集運搬・ 処理における環境配慮						
収集運搬に伴う 環境負荷の低減	行動目標	急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止			達成	○
廃棄物処理における 環境配慮	行動目標	悪臭防止のため臭気測定を実施(年1回)			達成	○
⑥環境活動への積極的な取組						
工場周辺の環境活動 への取組	行動目標	工場内の側溝等の清掃や周辺の草刈り等を行うこと で周辺環境に配慮			達成	○

※購入電力のCO2排出係数0.677Kg/kWhは、平成29年度中国電力実績(調整後値)を用いています。



年度	目標	実績
2021(基準年)	445,386	440,117
2022年度	436,478	466,443
2023年度	436,478	417,073
2024(対象年)	440,910	440,118

## VIII 環境経営計画とその評価(次年度の取り組み)

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組計画	達成状況	評価(結果と次年度の取組)
①省エネルギー(二酸化炭素排出量の削減)		
電力使用量の削減	○	目標達成。
・事務室、工場等の照明は、昼休み残業時等不必要なものは消灯		下半期に作業体制を見直した効果で上半期の未達成分を補い通期でも目標達成できた。
・肥料製造設備の動力機器等について効率的な電力利用		
化石燃料の削減(液化ガスLPG)	◎	目標達成。
・保温機能の付いたポットを活用		設備の見直しにより通期で目標達成できた。
化石燃料の削減(ガソリン)	×	未達成。
・アイドリングストップ(自動車)		アイドリングストップなどの対策だけでは目標達成が困難なため、EV車の導入なども今後は検討する。
・適切な車輛の点検整備		
化石燃料の削減(軽油)	△	未達成。
・アイドリングストップ(自動車・重機)		下半期の改善により削減できたが上半期の未達成分を取り返せなかった。来年度は期首から実行する。
・適切な車輛の点検整備		
化石燃料の削減(灯油)	◎	目標達成。
・暖房設備の適切な使用(室内暖房器・ジェットヒーター)		適切な使用の徹底。来期も継続する。
②水の効率的利用		
水の効率的利用	○	目標達成。
・節水意識の向上		引き続き雨水利用により上水使用をゼロに抑えた。温水時の「給水方法の確認が今後は必要になる。
③廃棄物等の排出抑制・リサイクル・適正処理		
受託廃棄物のリサイクル量の向上	○	目標達成。
・廃棄物の再資源化の推進 (受入量の増加=再資源化の推進=社会的な環境負荷の低減)		上半期の未達成分を下半期で取り返して通期で目標達成できた。
産業廃棄物の削減	×	未達成。
・フレコン等の再利用を推進		4月に対策を講じたが年度目標は未達成となった。
④排水処理		
排水量の削減	○	目標達成。
・排水量の削減 (収集運搬車荷台の洗浄に伴う汚水をコンポスト処理)		社員教育と協力会社への指導による。
⑤廃棄物の収集運搬・処理における環境配慮		
収集運搬に伴う環境負荷の低減	◎	エコドライブ意識の向上。
・急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止		長時間の駐停車時にはエンジンを停止するなど環境に配慮。
廃棄物処理における環境配慮	◎	地域との共存共栄。
・悪臭防止のため臭気測定を実施(年1回:選定10物質)		敷地境界上での測定では定量限界値未満であるため工場内部で測定。(悪条件で測定)
⑥環境活動への積極的な取組		
工場周辺の環境活動への取組	◎	排水溝の清掃、入口周辺の草刈り。
・工場内の側溝等の清掃や周辺の草刈り等を行うことで周辺環境に配慮		日時と担当者を事前に決めて実施

## Ⅸ 環境への取組の自己チェックについて

本年度における環境への取組を把握するため、「環境への取組の自己チェック」を実施し、環境保全の施策毎に負荷の重要度に応じて、重大「3点」・かなり「2点」・多少「1点」、取組状況に応じて、既に取組んでいる「2点」・さらに取組が必要「1点」、取組んでいない「0点」として、施策毎に集計・分析を行い継続的に改善を行う。

施 策	評価点	満点の場合 の点数	達成度	
1. 事業活動動へのインプットに関する項目				
(1)省エネルギー	43	52	83%	
(2)省資源	6	8	75%	
(3)水の効率的利用及び日常的な節水	4	4	100%	
<b>小 計</b>	<b>53</b>	<b>64</b>	<b>83%</b>	
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目				
(1)温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止	9	12	75%	
(2)廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理	16	18	89%	
(3)排水処理	6	6	100%	
<b>小 計</b>	<b>31</b>	<b>36</b>	<b>86%</b>	
3. 製品及びサービスに関する項目				
(1)受託した産業廃棄物の収集運搬・処理における環境配慮	32	32	100%	
<b>小 計</b>	<b>32</b>	<b>32</b>	<b>100%</b>	
<b>合 計</b>	<b>116</b>	<b>132</b>	<b>88%</b>	
※弊社作成のチェック表による結果	前年度	116	136	85%
	前々年度	119	136	88%

## Ⅹ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

本年度における環境関連法規制等への違反はありません。  
なお、環境法規制等の違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況
廃棄物処理法	収集運搬業(汚泥・動植物性残さ)、中間処理(堆肥製造) 産業廃棄物(汚泥・廃油[動植物性油脂]・動植物性残さ・動物のふん尿)	遵守
肥料取締法	肥料の登録・届出、肥料成分の保証・品質の表示 生産量報告、販売業務届出	遵守
悪臭防止法	臭気測定を実施(選定10物質) ※規制区域外であるが自主測定:環境保全協定書(吉川西刈尾区)	遵守
消防法	防火対象物に設けられている消防設備等の届出 消防設備等の点検	遵守
計量法	法定定期検査(2年に1回)	遵守
フロン排出抑制法	第一種特定機器の簡易点検(3ヶ月に1回)の記録	遵守

## XI 代表者による全体の評価と見直し・指示

受託廃棄物の量が目標を大きく上回ったことは、社会的な環境負荷の低減に直結することから最も高く評価できる点である。さらに、電力使用量や化石燃料使用量は受託廃棄物の量に比例しがちであるが、大半で目標を達成できたことは製造の現場各人の環境意識の高さと評価する。唯一軽油の使用量があと一歩であったことは来期の課題とする。一方で産業廃棄物の削減については目標を超過しているが、原因は廃棄フレコンの増加と判断する。作業工程の見直しを図り来期は改善することを指示

変更の必要性

【環境経営方針】 あり なし

【環境経営目標・計画】 あり なし

【実施体制】 あり なし

代表取締役 黒川 聖馬

## XII 環境活動の紹介

◎収集運搬車の荷台洗浄時に出る汚水をコンポスト処理。



屋外ヤード



洗浄



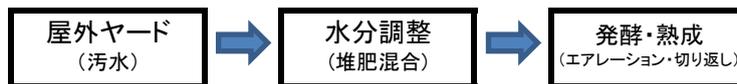
汚水ストック状況



堆肥投入



水分調整(堆肥混合)



◎消火設備等の自主点検・緊急時の対応訓練

【消火ポンプのメンテナンスと放水訓練】



## ◎臭気測定(自主測定)

地域の生活環境の保全と地域住民との信頼関係を築くため、吉川西刈尾地区と環境保全協定を結び、自主的に臭気測定を実施。(年1回・選定10物質)

**敷地境界上での測定では定量限界値未満であるため工場内部で測定。(悪条件で測定)**



臭気測定サンプル採取作業



吉川西狩生地区協議状況

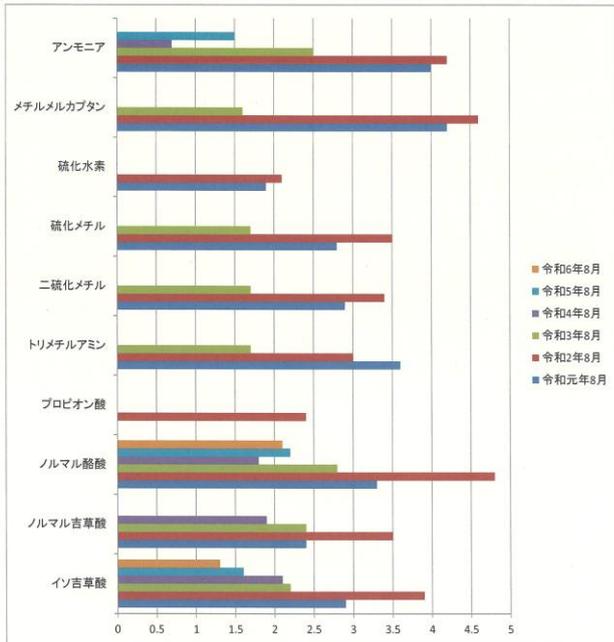
## 【測定結果】

表-1 悪臭物質の濃度:西日本オーガニック株式会社

採取日	令和6年8月20日	令和5年8月17日	令和4年8月18日	令和3年8月19日	令和2年8月19日	令和元年8月21日
悪臭物質の名称	測定結果 (ppm)					
アンモニア	0.1未満	0.3	0.1	1.2	13	9.2
メチルメルカプタン	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0003	0.079	0.038
硫化水素	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.007	0.004
硫化メチル	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001	0.19	0.027
二硫化メチル	0.0009未満	0.0009未満	0.0009未満	0.0013	0.079	0.021
トリメチルアミン	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0006	0.021	0.086
プロピオン酸	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.026	0.003未満
ノルマル酪酸	0.0005	0.0006	0.0003	0.0018	0.060	0.0042
ノルマル吉草酸	0.00009未満	0.00009未満	0.00040	0.00079	0.0042	0.00081
イソ吉草酸	0.0001	0.0002	0.0005	0.0007	0.024	0.0033

表-2 悪臭物質の臭気強度:西日本オーガニック株式会社

採取日	令和6年8月20日	令和5年8月17日	令和4年8月18日	令和3年8月19日	令和2年8月19日	令和元年8月21日
悪臭物質の名称	臭気強度					
アンモニア	-	1.5	0.7	2.5	4.2	4.0
メチルメルカプタン	-	-	-	1.6	4.6	4.2
硫化水素	-	-	-	-	2.1	1.9
硫化メチル	-	-	-	1.7	3.5	2.8
二硫化メチル	-	-	-	1.7	3.4	2.9
トリメチルアミン	-	-	-	1.7	3.0	3.6
プロピオン酸	-	-	-	-	2.4	-
ノルマル酪酸	2.1	2.2	1.8	2.8	4.8	3.3
ノルマル吉草酸	-	-	1.9	2.4	3.5	2.4
イソ吉草酸	1.3	1.6	2.1	2.2	3.9	2.9



注1)測定結果が定量下限値未満のものについては、臭気強度を算定していません。

受付番号: TK-240802374-1  
発行番号: TK-2400958-1-A-1/1  
2024年8月29日 発行

## 計量証明書

西日本オーガニック株式会社  
計量管理 環境計量士 森原 由紀

上記試料について計量の結果を下記のとおり証明します。

計量の項目	計量の単位	計量の結果	計量の方法
アンモニア	ppm	0.1 未満	昭和47年環境庁告示第9号 別表1
メチルメルカプタン	ppm	0.0002 未満	昭和47年環境庁告示第9号 別表2第1
硫化水素	ppm	0.002 未満	昭和47年環境庁告示第9号 別表2第1
硫化メチル	ppm	0.001 未満	昭和47年環境庁告示第9号 別表2第1
二硫化メチル	ppm	0.0009 未満	昭和47年環境庁告示第9号 別表2第1
トリメチルアミン	ppm	0.0005 未満	昭和47年環境庁告示第9号 別表3
プロピオン酸	ppm	0.003 未満	昭和47年環境庁告示第9号 別表5
ノルマル酪酸	ppm	0.0005	昭和47年環境庁告示第9号 別表5
ノルマル吉草酸	ppm	0.00009 未満	昭和47年環境庁告示第9号 別表5
イソ吉草酸	ppm	0.0001	昭和47年環境庁告示第9号 別表5
以下 余 白			

備考  
開始時刻: 10時55分 終了時刻: 11時25分  
気温: 26.6℃ 湿度: 85%